

# 松下幸之助経営塾

[第三期] 2012年2月開講

特別講師

肩書きは、掲載当時のものです



## 佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) 日本テレネット株式会社 取締役相談役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2002年より、同社代表取締役会長(兼)社長を務め、03年6月より、会長専任。06年6月より、相談役。11年7月より、名誉顧問。同7月より、日本テレネット株式会社取締役相談役。



## 中野 健二郎 (なかの・けんじろう) 京阪神ビルディング株式会社 代表取締役社長

1947年、熊本県生まれ。71年、九州大学経済学部を卒業後、株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行)に入行。98年、同行取締役・証券部長。常務、専務、副頭取を経て、2008年、同行代表取締役副会長。10年より、現職。08年5月から10年5月まで、関西経済同友会代表幹事。三井住友銀行に在籍中、「担当者」から「次長」、「部長」、「常務」、「副頭取」と肩書きは変わったが、松下幸之助存命中から約30年間に亘り、松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)を担当し、その歴史を外部から見てきた。



## 新屋 純之輔 (しんや・じゅんのすけ) パナソニック株式会社 客員

1934年、松下電器店員養成所の一期生として入所。37年、卒業とともに、松下無線(当時)に入社。一時、軍隊召集のためシベリアへ渡るが、再び松下無線に戻る。58年、第六事業部(テレビ工場)の初代製造課長を務め、昭和36年、松下通信工業へ出向。63年、自動車ラジオ事業部長。68年、取締役。現在、パナソニック株式会社客員。



## 小嶋 淳司 (こじま・あつし) がんこフードサービス株式会社 代表取締役会長

1935年、和歌山県生まれ。同志社大学経済学部卒業後、大阪榮寿司店にて1年間見習修行。63年、大阪十三にて4坪半の寿司店を創業。2年後に120席の大型寿司店を開店(現在の十三寿司店)。69年、法人設立。2005年より、現職。がんこフードサービス株式会社は現在、関西圏、関東圏を中心に、寿司、和食、炉ばた料理、とんかつ、回転寿司、自家製がんこ豆腐直売店等の直営店95店舗を展開中。また江戸時代より続く庄屋と庭園を生かした平野の『平野郷屋敷』や、京都高瀬川を開削した京の豪商「角倉了以」の別邸跡で高瀬川源流の『高瀬川二条苑』など、貴重な文化的遺産を生かした和食店を展開し話題となる。(社)関西経済同友会代表幹事、(社)関西経済連合会理事、(社)日本フードサービス協会会長、大阪商工会議所副会頭(在任中)などを務め、関西経済界の重鎮として知られる。著書に『儲かってまっか! がんこ流人育て心得帖』(1995年・日経BP社)。



## 大竹 美喜 (おおたけ・よしき) アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 創業者・最高顧問

1939年、広島県生まれ。60年、広島農業短期大学(現 県立広島大学)卒業。2008年韓国 大邱韓医大学名誉保健学博士。32歳の時、「がん保険」専門で米国では歴史の浅いアメリカンファミリー生命保険の創業者から、日本市場進出への協力要請を受け同社東京事務所代表となる。当時の生命保険業界は大手国内保険会社が市場を独占し、外資系生命保険の新規認可は困難な状況であったが、2年半かけてようやく認可を得、74年日本社創業。副社長に就任。86年、社長、95年、会長を歴任し2003年より現職。

1992年、米国連邦議会にて日米の経済交流促進に重要な役割を果たした功績により賛辞を受け、公式記録に掲載される。2000年『Business Week』誌で「アジアのスター50人」に選ばれる。2001年、藍綬褒章受章。

現在、公益財団法人国際科学振興財団会長、公益財団法人国連大学協力会評議員、国立大学法人広島大学特別顧問、株式会社産業経済新聞社取締役などを務める。

著書に『これでいいのかニッポン』(1994年・NHK出版)、『リーダー改造論』(1999年・きんざい)、『仕事で本当に大切にしたいこと』(2004年・かんき出版)、『これから働き始める君たちへ』(2012年・産経新聞出版)など。



## 岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルビン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。1961年、株式会社PHP研究所へ外向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね～松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。